

## 鳥の多様な形

## 問題 展示番号 6

(1) 鳥の体は飛ぶことに特殊化しており、どの種類も基本構造は共通していて変わりません。しかし、嘴や足など、各部位の形状の異なる9000種が知られ、多様な生活様式をもって適応しています。ここでは、餌の違いによって6つのグループに分けて配列してあります。6つの餌の違いと、それぞれの鳥グループとを線で結んでください。

肉食 \*

①

ツバメ類・ヒタキ類・モズ類・キツツキ類  
 ・潜水性カモ類・チドリ類・シギ類・トキ類  
 ・ヘラサギ類・カワガラス類

魚食 \*

②

タカ科・ハヤブサ科（昼行性）  
 フクロウ科（夜行性）

小動物食 \*

③

カワセミ類・アジサシ類  
 サギ類・コウノトリ類  
 ペンギン類・カイツブリ類  
 ウミスズメ類・ウ類

死肉食 \*

④

ハゲワシ類・コンドル類

植物食 \*

⑤

カラス類・ツル類  
 クイナ類・ツグミ類  
 イワヒバリ類

雑食 \*

⑥

キジ類・ガン類・ハクチョウ類  
 カモ類・ハト類  
 サイチョウ類・オオハシ類  
 タイヨウチュウ類・ハチドリ類  
 カモ類・フラミンゴ類

参考：『類』という語は良く使われますが、正式な分類の用語ではありません。

ここではフクロウ科とメンフクロウ科を合わせて『フクロウ類』と呼ぶなど、大まかなグループ分けのくくり方として、『フクロウの仲間』と言うような意味で使用しています。

(2) 鳥の嘴や足の形は、餌のとりかたに応じて多様化しました。

標本を見ながらそれぞれの特徴を整理してください。

空欄①～⑧に適する説明文を、下のア～クから選んで入れてください。

		餌	足	嘴 (くちばし)
1	フクロウ類 ・タカ類	肉食 (ほ乳類・鳥類) 魚食	①	鋭い・獲物を引き裂く
2	サギ・コウノトリ類	魚食	②	長い
3	ペンギン類	③	④	頑丈で分厚い
4	ウグイス類	小動物食 (虫)	枝をつかむ	⑤
5	ツバメ類	⑥		幅広い口で飛びながら空中で虫を捕らえる
6	キツツキ類	小動物食 (木の幹内の昆虫)	2本ずつ前後に開いた指	⑦
7	カラス	雑食 (地上の昆虫・種子、樹状の果実、動物の死骸、卵やヒナ)	頑丈	⑧

- ア、魚食  
 イ、小動物食 (空中の虫)  
 ウ、頑丈  
 エ、木に穴をあける鑿 (のみ)  
 オ、ピンセットの様に虫を摘み取る  
 カ、浅瀬に立つ長い足  
 キ、からだの後についているので  
 水の抵抗を受けない足  
 ク、鋭い爪で獲物を捕える